

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	公共用地先行取得事業	所管部局	土木部

1	所管 室課	地域整備推進室	事業名	千里丘朝日が丘線用地取得事業		
事業概要						
千里丘朝日が丘線用地取得						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度は、物件補償を実施。 (用地取得面積) 令和2年度 101.96㎡ 令和3年度 1.51㎡ 令和4年度 58.76㎡ 令和5年度 327.31㎡ 令和6年度 84.61㎡ 令和7年度 0㎡		決算額 (千円)	247,461	216,707	11,644	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	■ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設 事業を計画的に推進するため、地権者との 合意形成を図り、任意交渉を基本として 用地取得を進めていくことが必要である。			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	
					令和9年度末の整備完了に向けた用地交渉の実施。	

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
地域整備推進室	元金償還事業		
地域整備推進室	利子償還事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

1	所管 室課	道路室	事業名	道路台帳等整備事業		
事業概要						
路線調査更新、市道認定・廃止、用地図面作成、地籍調査推進						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 路線調査更新 道路の認定、廃止等に合わせ道路台帳の調製を行った。 令和7年度：認定路線本数 16本、延長 1,386.8m (2) 市道認定・廃止 私道の公道化に向けて調査及び図面の作成を行った。 (日の出町) (3) 用地図面作成 道路用地の寄附に必要な調査及び図面の作成を行った。 用地測量 8件、土地調書作成 37件、境界標設置工 46件 (4) 地籍調査 細部図根点を設置し、吹田市道の道路境界点の測量等を行った。 (南吹田) 面積 0.267k㎡		決算額 (千円)	113,433	40,500	39,643	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	98.8	95.9	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		道路の寄附、帰属、所管換え等に伴い、 調査及び図面の作成を行い、道路法に基 づく道路台帳を調製、保管する施策の基 礎的事業である。 施策の円滑な推進のため、適切な台帳の 調製に努めるとともに、資料の電子化を 推進し、業務効率化を図る必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	
					市道の適切な資産管理 に必要な業務であり、 予算を確保して実施し ていく。	

2	所管 室課	道路室	事業名	道路管理事業		
事業概要						
道路管理、路線道路補修、路側帯安全対策、不法投棄回収、すいた里親道路制度						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 道路管理 市管理の道路施設の保守点検、清掃等を実施し適切な維持を行った。 (2) 路線道路補修 市管理の道路施設の劣化や破損している箇所の補修及び小規模改良工 事を行った。 令和7年度：舗装打換え面積（舗装補修工事） 7,146㎡ (3) 路側帯安全対策 路側帯の安全対策整備工事を行った。 令和7年度：路側帯安全対策工事 施工面積 641㎡ (4) 不法投棄回収 市道上の不法投棄物を速やかに回収、処分し交通の確保に努めた。 (5) 緑あふれる未来サポーター 里親道路維持管理活動への支援を行い、道路美化の推進を図った。		決算額 (千円)	506,407	494,784	575,246	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	98.4	96.5	96.7	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ■ 持続可能性
		道路は人や物の移動のためのほか、ライフラインの整備空間や災害時の避難路など、様々な役割を担う重要な社会インフラであり、そのような道路の適切な維持管理は、市民生活や経済活動にも直結した最も重要な業務である。しかし、道路の老朽化や管理対象施設の増加に加え、ニュータウン開発時に整備された道路構造物の更新時期を迎えていることから、費用の増加が見込まれる。				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続
						道路を良好な状態に保つよう今後も経常的な実施が必要である。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

3	所管 室課	道路室	事業名	道路ストック総点検事業			
事業概要							
橋梁等道路施設点検診断							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 道路施設定期点検業務 市管理の橋梁43橋の点検を実施した。 (2) 道路ストック点検業務 市管理のカーブミラー524箇所の点検を実施した。 (3) 路面下空洞調査 市管理の道路道路24.9kmの路面下空洞調査を実施した。 (4) JR岸辺駅南北自由通路点検 岸辺駅南北自由通路のJR貨物区間の範囲654㎡の点検を実施した。 (5) 路面性状調査 市管理の道路88kmの路面性状調査を実施した。			決算額 (千円)	78,566	79,928	70,517	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	86.1	84.9	79.7	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			平成26年の道路法施行規則改正により、 トンネル、橋、その他道路を構成する施 設、若しくは工作物は点検が義務付けら れている。老朽化に伴う第三者被害の発 生を未然に防止することが安心安全の都 市づくりにつながることから、コスト縮 減を図りつつ、膨大な道路ストックを効 率的に維持管理する必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
						今後も定期的な道路ス トックの点検により、 道路の維持管理に努め る。	

4	所管 室課	道路室	事業名	道路新設改良事業			
事業概要							
道路新設改良、バリアフリー道路特定、路線道路舗装、私道舗装助成、自転車通行空間整備、狭小幅員整備							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 道路新設改良 山田佐井寺岸部線ほか4路線の改良工事を実施した。 (2) バリアフリー道路特定 片山町31号線ほか4路線のバリアフリー化工事を実施した。 (3) 路線道路舗装 桃山台41号線ほか13路線の舗装更新工事を実施した。 (4) 私道舗装助成 2件の申請があり、それについて助成した。 (5) 自転車通行空間整備 青山古江線ほか4路線の自転車通行空間整備工事を実施した。 (6) 狭小幅員整備 寄附を受けた道路用地に排水施設や舗装等の狭小道路整備工事を15件実施した。			決算額 (千円)	677,781	797,992	726,235	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	31.7	34.4	14.4	☐ 有効性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 効率性	
			社会基盤施設である道路の整備水準を高めることは、市民生活の安心安全や高質化に繋がることから必要不可欠であり、今後も引き続き事業を継続していく必要がある。一方、道路の整備には多額の費用が掛かるため、今後も国費等の予算の確保が必要。 生活関連経路等のバリアフリー化整備率は令和7年度末で96.5%となり、現計画での道路室での対応路線は終了した。			☐ 公平性	
						■ 持続可能性	
			今後の実施計画 の方向性・内容			継続	
			令和8年度に策定される新たなバリアフリー計画に基づき整備を実施する。また、道路舗装等を含む道路の新設改良を実施する。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

5	所管 室課	道路室	事業名	交通安全施設整備事業			
事業概要							
交通安全施設整備							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
歩行者の安全確保及び交通事故を防止するため、道路反射鏡、区画線、防護柵等の工事を実施した。 令和7年度：道路反射鏡の新設及び補修等 94件 区画線の設置及び塗り直し等 4,582m 防護柵等の設置及び補修等 69m			決算額 (千円)	52,428	41,485	43,308	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	36.3	23.4	27.7	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			交通事故防止など、交通安全に関する意識の高まりにより、更なる交通安全施策の推進が求められている。交付金を主な財源としているが、事業量の増加を考慮すると、財源の確保が今後の課題となる。			継続	
						交通安全に寄与するため、今後も継続的実施が必要である。	

6	所管 室課	道路室	事業名	橋梁新設改良事業			
事業概要							
橋梁新設改良							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
上極楽橋補修設計業務を実施した。 令和6年度から令和8年度までの3か年で行う高浜橋耐震補強及び補修工事の令和7年度分の工事を実施した。 山田南橋耐震補強設計業務を実施した。 藤白橋階段改良工事を実施した。			決算額 (千円)	195,242	261,102	559,627	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	24.3	4.1	5.2	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			令和4年吹田市橋梁長寿命化修繕計画及び 橋梁耐震化計画に加え、橋梁定期点検の 結果に基づき、約200橋の維持管理を 行っている。これら計画及び点検結果を 基に個別施設計画を作成し、予防保全的 な老朽化対策や耐震化対策を実施してい る。ほかにも橋梁の新設、改良、橋梁防 護柵等橋梁附属物の改良、橋梁撤去・集 約等も実施していく。インフラストック の高齢化・老朽化対策は喫緊の課題であ り、効率的・経済的だけでなく、持続性 をもった事業推進が求められている。				継続
							今後も適切なメンテナ ンスを実施し、予防保 全型の維持管理に努め る。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

7	所管 室課	道路室	事業名	街路灯管理事業			
事業概要							
街路灯管理、街路灯補修							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
市民が安全かつ安心して暮らせる地域社会とするため、街路灯や防犯灯の補修、新設工事等を行った。 令和7年度：設置 88件、補修 224件、球替 25件 街路灯設置工事（その1） 街路灯台帳システム保守業務			決算額 （千円）	85,767	134,593	105,845	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	100.0	100.0	100.0	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			LED化により、灯具の更新までの期間は 延びているが、新設要望は依然として多 く、また、これまでに設置した街路灯の 市柱更新など、今後も継続的な費用が必 要となる。			継続 道路上の防犯と安心・ 安全に繋がる事業であ り継続的な実施が必要 である。	

8	所管 室課	道路室	事業名	道路受託復旧事業			
事業概要							
道路受託復旧							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
舗装復旧面積 令和5年度 0㎡ 令和6年度 0㎡ 令和7年度 552㎡			決算額 (千円)	0	0	3,280	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			令和2年1月1日に吹田市道路占用工作 物工事執行規則の一部が改正され、舗装 本復旧工事を原則工事施工者が施行する ことになったが、道路管理者として必要 な場合は市が受託して施行するため、今 後も現状規模で継続する見込みである。			継続 原則工事施工者が施行 するため、事業は現状 規模で継続する見込み である。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

9	所管 室課	道路室	事業名	街路樹等管理事業			
事業概要							
街路樹等維持管理、草花等維持管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
道路環境を保全し、快適な道路空間や都市景観の形成を目的に、市が管理する街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。 令和7年度：（定期業務） 除草及び低中木剪定 16業務 高木剪定 11業務 草花植付 2業務 （不定期業務） 除草、剪定業務 63件 樹木健全度調査 青山台地区ほか			決算額 （千円）	335,600	339,042	369,649	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	86.4	99.1	99.2	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ■ 持続可能性
			街路樹は都市景観の形成や環境の保全に大きな役割を果たしており、豊かなみどりは吹田市のブランドの一つとなっている。今後も街路樹の健全な保全と育成を図る必要がある一方で、大径木化、高齢木化と併せて、除草や剪定についての市民要望は増加している。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続
			街路樹等の適正な維持管理を実施するため継続的な実施が必要である。				

10	所管 室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路管理事業			
事業概要							
都市計画道路管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度は、管理用地の除草業務を実施した。			決算額 (千円)	0	0	269	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			・都市計画道路整備完了後の残地につい て、公共用地としての活用又は売却処 分の検討が必要である。 ・用地の維持管理（除草等）が必要であ る。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
						廃止路線の取得済み用 地は、令和8年度末ま でに売却等処分を目指 す。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

11	所管 室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業			
事業概要							
都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度の主な業務 (1) 道路用地の取得に係る業務 ・用地補償総合技術業務 ・支障物件調査業務(その3) ・再算定業務(その3) ・再算定業務(その4) (2) 道路の設計等に係る業務 ・道路等詳細設計業務			決算額 (千円)	41,713	186,076	601,618	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	63.2	19.6	9.4	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			計画期間内の事業完成を目指し、任意取得を進めているが、権利者との合意形成や所有者等特定不能土地に関する諸手続きに時間を要することが見込まれる。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続
					令和9年度末の整備完了に向けた用地交渉の実施。		

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
						今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名